

東日本大震災の経験から学ぶ

災害支援における教師や学校心理士の果たす役割

講演者

岩手大学 教育学部 特別支援教育科 我妻 則明 教授

専門分野：特別支援教育，公衆衛生学・健康科学，学校心理学

1979年3月東京大学 医学系研究科 保健学専門課程精神衛生学講座修士課程修了
保健学博士（東京大学 1988年3月）

1980年4月～ 岩手大学 教育学部 障害児教育科 助手，講師，助教授を経て，
2001年4月より教授，現在に至る。

附属特別支援学校長 2007年4月～2010年3月

アイオワ大学医学部客員教授 1997年8月～1997年9月

メリーランド大学教育学部客員教授 1997年10月～1997年11月

ブリティッシュコロンビア大学教育学部客員研究員 2000年2月～2000年3月



講演概要

この研修会では，東日本大震災の発生後に，岩手県の学校心理士と教員がどのような活動をしてきたか，その活動からどのような教訓を得たかを紹介する。その教訓から，近い将来起こることが予測されている南海トラフ巨大地震ばかりでなく，広島の土砂災害等の自然災害に対して，学校心理士と教員が，どのように準備をして，どのように対応すべきかを個人的意見として説明する。それを要約すれば，外部からの心理支援者は，短期間の支援にとどまり，かつ，支援を受ける学校側の負担となるために，学校内にいる学校心理士と教員が支援の中心となること，そのためには，災害が起きてからでの泥縄研修では間に合わないので，防災教育，災害後の心のケア等を必須の学習課題とすべきということである。

日時・場所等

日時：平成 27 年 3 月 15 日(日)

スケジュール：13:00～15:00 講演

15:10～16:00 被災児童生徒にかかわる個別相談（申込先着順）

場所：サテライトキャンパスひろしま 502 号室

広島市中区大手町 1 丁目 5-3 広島県民文化センター5 階

参加費：1,000 円

申込方法と期日：氏名，学校心理士登録番号（学校心理士のみ），

所属，職名，連絡先，個別相談の有無を記載の上，

3 月 12 日(木)までにメールまたは FAX でお申し込みください



申込・問い合わせ先：E-mail sphrsm@hiroshima-u.ac.jp FAX 082-424-7195

●主催：日本学校心理士会，広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター

●後援：広島大学大学院教育学研究科，広島市教育委員会